

# 【ご案内】MSCI指数の構成国の変更について/中国A株のウェイト引き上げについて

## ■MSCI指数の構成国の変更について

2018年6月21日(日本時間)にMSCIが指数の見直しを発表し、サウジアラビアとアルゼンチンが新興国市場に分類されることが発表されました。2019年5月末と2019年8月末に、段階的に組入れられます。

MSCIは、国別の指数算出国を「先進国市場」、「新興国市場」、「フロンティア市場」の3つの市場に分類し、「経済発展基準」「市場性規模・流動性基準」「市場アクセス」の3つの基準に基づき分類を実施し、適宜見直しを実施しています。

新興国市場に分類されるためには、3つの基準のうち「市場性規模・流動性基準」「市場アクセス」の2つで一定の基準を満たしていることが求められています。

### ●サウジアラビア

組入れは2019年5月末と2019年8月末の2回に分けて実施される予定であり、新興国指数への組入れ比率はおよそ2.88%となる見込みです。(2019年5月末の組入れウェイトはおよそ1.44%となりました。)

#### 【変更理由】

規制面およびオペレーション面において数多くの強化策が実施され、外国人機関投資家への市場開放が効率的に進展したこと。

### ●アルゼンチン

組入れは2019年5月末に実施され、新興国指数への組入れ比率はおよそ0.29%となりました。(2019年5月末基準)また、組入れ銘柄は海外上場銘柄に限定されます。

#### 【変更理由】

株式市場へのアクセスが向上してきており、またその維持も可能と評価されたこと。

## ■中国A株のウェイト引き上げについて

MSCIは2018年より中国A株のウェイト増加についてコンサルテーションを実施していましたが、2019年3月1日、MSCI中国が含まれるすべてのMSCI指数(MSCI-EMERGING、MSCI-ACWIなど)につき、以下の変更を発表しました。

### ●アナウンス概要

#### 【一株あたりの組み入れ比率の引き上げ※1】

第一段階:2019年5月(5→10%)、第二段階:2019年8月(10→15%)、  
第三段階:2019年11月(15→20%)

#### 【組入れ対象の拡大】

2019年4月以前:A株(除くCHINEXT※2) ⇒ 2019年5月以後:A株(含むCHINEXT)

2019年10月以前:大型 ⇒ 2019年11月以後:大型+中型※3

### ●指数への組入れ割合

	第一段階(確定値*)	第二段階(推定値)	第三段階(推定値)
MSCI EM	1.65%	2.47%	3.86%
MSCI ACWI(日本含む)	0.20%	0.29%	0.46%

\*2019年5月末基準

※1:例えば時価総額1億円の銘柄であれば、現在は500万円分(=1億×5%)のみ組入れられているが、今回の見直し後は2000万円分(=1億×20%)が組み入れられる

※2:CHINEXT(創業板)=中国版NASDAQ/マザーズ

※3:大型株:各市場ごとき時価総額上位70%、中型株:各市場ごとき時価総額上位70%~85%、  
小型株:各市場ごとき時価総額下位15%